

3つの小問において良い成績を示している。成績の良かった問題の〔5〕(3)は、記譜に関するものであるが、同じ記譜についての〔5〕(1), (2)の問題は、逆に現役組より悪い成績であり、又〔7〕(2)の鑑賞の問題では、同じねらいをももった〔7〕(1)の成績が現役組より悪い成績となっている。

現役組に対する浪人組の位置づけ 一音楽一

浪人 < 現役	浪人 = 現役	浪人 > 現役
〔1〕(1) 〔1〕(2) 〔3〕 〔5〕(1)	〔5〕(2) 〔7〕(1) 〔8〕(2) 〔2〕(3) 〔4〕 〔7〕(3)	〔2〕(1) 〔8〕(1) 〔6〕 〔7〕(2)

図工

〔7〕(2)の見取図と陰影とを合せて1つの小問とした計14の小問において、浪人組は3つの小問において現役組より成績が悪く、4つの小問において良い成績を、残りの7つの小問においては現役組のみの成績となっている。成績の良い小問が特にある領域に集中しているというのではなく、同一のねらいをもった問題の中で、1つの小問は成績が良く、他の小問ではその成績が悪いというような状況である。

現役組に対する浪人組の位置づけ 一図工一

浪人 < 現役	浪人 = 現役	浪人 > 現役
〔3〕① 〔3〕② 〔6〕(2)	〔1〕②〔6〕(1) 〔2〕〔7〕(1)① 〔4〕(1)〔7〕(1)② 〔5〕(2)	〔1〕① 〔4〕(2) 〔5〕(1) 〔6〕(1) 〔7〕(2)

保体

浪人組は6つの小問で現役組より成績が良く、残り9問は現役組のみの成績となっている。成績のよい6問のうち、4問は問題番号〔4〕の陸上競技の規則に関するものであり、残りの1つは〔3〕バスケットボールのルールに関する問題の選抜肢エ、他は〔1〕健康診断票に関するもののうちトラホームについてのものである。

現役組に対する浪人組の位置づけ 一保体一

浪人 < 現役	浪人 = 現役	浪人 > 現役
	〔1〕(1)〔3〕(3) 〔1〕(3)〔4〕(1)②口 〔2〕(1)〔5〕(1) 〔2〕(2)〔5〕(2) 〔3〕(1)	〔1〕(2) 〔3〕(2) 〔4〕(1)① 〔4〕(1)②イ 〔4〕(1)③

職業必修

浪人組は1つの小問において成績が悪く、逆に2つの小問において成績がよく、余り12の小問においては、現役組とおなじ成績を示している。

成績の悪い小問は、領域では家庭に属する〔5〕(4)の洗剤と繊維とに関するものである。この小問は男子より女子に有利な問題と思われる所以、浪人組と現役組にお

ける男・女比が明らかにされなければ、直ちに両組の成績の良し悪しは論じられない。

現役組に対する浪人組の位置づけ 一職業必修一

浪人 < 現役	浪人 = 現役	浪人 > 現役
〔5〕(4)	〔1〕(1) 〔1〕(2) 〔2〕 〔4〕 〔5〕(1) 〔5〕(2)	〔5〕(3) 〔6〕 〔7〕 〔8〕(1) 〔8〕(2) 〔9〕(2)

英語

浪人組は2つの小問において、現役組のみの成績を示しているのみで、他はすべて13の小問一悪い成績となっている。

現役組に対する浪人組の位置づけ 一英語一

浪人 < 現役	浪人 = 現役	浪人 > 現役
〔1〕①〔4〕 〔1〕②〔4〕 〔2〕(1)〔5〕 〔2〕(2)〔5〕 〔3〕(1)〔5〕 〔3〕(2)〔5〕(4)② 〔3〕(3)	〔1〕(1) 〔5〕(4)①	

以上は浪人組の教科ごとの小問の成績を、現役組のそれと比較して、その成績が悪い浪人<現役並み=同じ浪人=現役=良い浪人>現役=という表現で表わして来た。今教科別に成績の悪かった小問、成績の良かった小問数の全小問数に対する割合についてみると、前者に属するものでは英語の86.7%が最も多く、統いて国語の36.7、音楽46.7、図工21.4社会20.0%であり、後者では理科の50%が最も多く、数学の46.7、社会36.7、図工28.6%などへと順次少くなっている。

又悪かったもの、良かったものの占める割合の開きからは英語、音楽、国語では、浪人組の成績が悪く。数学、理科、保育、社会などではその成績が良い。

浪人組の成績が下位、上位であった小問数の全小問に対する百分比

教科	国語	社会	数学	理科	音楽	図工	保育	職必	英語	計
項目										
下位	36.7	20.0	3.3	6.7	46.7	21.4	0	6.7	86.7	228.2
上位	10.0	36.7	46.7	50.0	0	28.6	40.0	13.4	0	225.4

E 非行傾向児の早期発見を目的として作成した性格検査について

a 研究の経緯

環境診断、性格検査などが広く一般に市販され、また多くの学校で使用されている。これらの検査結果を、非行傾向児を早期に発見するという立場から、どのように解釈したらよいか、その解釈の仕方を研究する。またこの研究に用いた各種の検査で、非行傾向児の早期発見